

93 鳥取県高P連会報

Contents

□高P連会長挨拶	1	□自転車用ヘルメット着用推進活動	5
□高等学校における「GIGAスクール構想」の取組	2	□優良PTA文部科学大臣表彰・全国高P連会長表彰	6
□PTA活動紹介	3	令和3年度・令和4年度各種大会等の予定	
鳥取東高等学校・倉吉農業高等学校		□第70回全国高P連大会鳥根大会報告	7
□令和3年度総会報告	4	PTA広報紙展示	
県立高校PTA会長・校長名簿・県高P連表彰		□高校生総合保障制度案内	8

この度、鳥取県高等学校PTA連合会会長を拝命いたしました。鳥取県立鳥取西高等学校PTA会長徳吉淳一と申します。保護者の皆様におかれましては、平素より、各高等学校の運営にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。教育委員会の皆様には、教育行政につきまして、PTAとの情報交換等を通じて様々な取り組みにご協力いただき誠にありがとうございます。また、各高等学校校長先生をはじめとする先生方には、コロナ禍という前例のない状況の中、安全な学校生活を送れるよう様々な対策・工夫・努力をしてくださりながら、学校教育の充実、子供たちの健全育成のためにご尽力いただいておりますこと、心より感謝申し上げます。

鳥取県高等学校PTA連合会は、昭和24年に結成され、今年度で72年目を迎えました。この長い歴史を振り返ると、先人達は社会変化への対応、教育環境の改善、子供たちの健全育成のために多くの活動を行ってきました。また、全国の各都道府県高等学校PTA



現在、世界中が新型コロナウイルス感染症の影響を受けています。そのような状況の中で、PTA活動も従来のやり方ではなく、時代の変化に応じた活動を行うっていく必要があると思います。例えば、各種会議・研修会の開催方法がその一つです。新型コロナウイルスに関する研究が進み、最近では空気感染が主な感染経路ではないか？という研究結果が出され、より一層、対面での会議・研修会等に対して注意が必要であります。

PTA連合会との交流を深め、情報を共有しながらお互いを高め合ってきました。私たちは、この積年の活動を受け継ぐ責任を担っており、次の世代へバトンタッチする役割も担っています。しかし昨年は、人類が経験したことのない新型コロナウイルス感染症の影響により、生活活動が制限され、様々なPTA活動が中止へと追い込まれました。鳥取県高等学校PTA連合会の長い歴史の中でもおそらく初めてのことでないでしょうか？

そのような中ですが、集まれる状況の時は集まる、そうでない場合はオンラインという具合に、対面とオンライン形式とを、その時々状況に応じてうまく使い分けていきたいと考えております。

さて、感染症だけでなく、子供たちの周りにはいじめ問題、ネットモラル問題、通学路での安全の確保など様々な課題があります。その中でも、令和5年度よりはじまる「自転車通学時のヘルメット着用」は我々PTAにとっても大きなトピックスであります。通学時の安全確保のためにはヘルメット着用は大切なことであり、徐々に自転車通学者全員着用に向けて移行していきたいと考えております。そのためには、各高校が足並みをそろえて移行にむけて一緒に取り組んでいくことが必要です。鳥取県高等学校PTA連合会としましては、その旗振り役となれるよう各高校PTAと連携しながら取り組んで参りたいと思っております。

結びにあたり、この難局を乗り越えていくために、我々も努力を惜しまない覚悟です。皆様には、子供たちのよい良い教育環境の整備、また安全・安心な学校生活の実現のためにご理解とご協力を賜りますことをお願い申し上げます。私の就任のご挨拶とさせていただきます。1年間、どうぞよろしくお願いたします。

発行

鳥取県高等学校PTA連合会 〒680-0846鳥取市扇町21県民ふれあい会館内
TEL/0857-27-0730 FAX/0857-27-0739 E-mail/tori-kop@gamma.ocn.ne.jp

バックナンバーはホームページでご覧いただけます。http://tottori-koupren.com/



高等学校における「GIGAスクール構想」の取組について

鳥取県教育委員会事務局 高等学校課
高校教育企画室 指導主事 石原 一紀

情報化やグローバル化の進展、生産年齢人口の減少、AIの発達、Society 5.0時代の到来等により想像を超えた社会変革が加速し、予測不能な社会の中、これからの生き生きする子どもたちにはどのような資質や能力が必要となるのでしょうか。

令和5年度までに整備予定であった国の「GIGAスクール構想」は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い計画が前倒しとなり、本県の義務教育段階の児童生徒に対しても令和2年度から1人1台の端末が整備され、今年度から本格的な活用が始まっています。

そこで本県では、令和3年2月に「鳥取県学校教育情報化推進計画」を策定し、新学習指導要領に学習の基盤として位置付けられた「情報活用能力」を発達段階に応じて育成を図ること、将来の鳥取県を担う子どもたちにテクノロジを活用して他者と協働しながらあらゆる情報を結びつけ、新たな価値を創造して課題を解決する力の育成を図ること、併せて情報モラルの必要性や情報の取扱いに対する責任について正しく理解し、情報社会に参画する態度を身に付けさせることを目的に、小中(義務教育学校)高を通じて1人1台の端末環境のもと、ICTを組み合わせた学校教育を推進していくこととしました。

本県の取組の特徴の一つとして、小学校入学から高校卒業までの12年間、継続したアカウントの使用によりGoogle Workspace for Educationという共通のグループウェアを学習

活動等に活用することで、過去の学習や取組のデータを蓄積し、校種を越えていつでも振り返りが可能になる等、自己のキャリア形成や進路決定に役立つことが挙げられます。

高校においては、1人1台端末の環境を経験した生徒が令和4年度から入学することとなるため、義務教育段階から切れ目なく日常使いの文具として端末を活用できる環境にする必要があります。県立高校では、昨年度から継続して個人所有のスマートフォンや既に各校数十台程度整備済みで共用端末を活用し、臨時休業や分散登校時の連絡、オンライン課題配信、Web会議システムを活用したホームルーム等を実施しているところですが、画面サイズが小さく身体的負担の懸念やキーボードがないこと等で活用に限界があることが明らかとなつていきます。(鳥取県高P連会報No.91参照)

そこで県立高校において令和4年度入学生からは、学校が指定する端末(機種:Chromebook(管理ツール導入済)金額:55,000円程度)を各御家庭の負担で入学当初に購入していただき、それを活用することとします(低所得者世帯には端末貸与の支援あり)。この方式を「BYAD (Bring Your Assigned Device)」と言ふ、個人所有端末にすることで自宅を持ち帰っての課題学習のほか、個人の興味関心に応じて時間や場所を選ばず活用ができるメリットがあります。

また、時を同じくして令和4年度入学生から高校では新学習指導要領

による学びがスタートします。特に「主体的・対話的で深い学び」として、多様な考えを受け入れ他者との対話活動を重視した主体性のある協働的な学びの充実を図ることとされており、まさに1人1台端末は親和性の高い必須アイテムとなります。

これらを見越して、鳥取商業高校、倉吉東高校、米子東高校の3校では、今年度の入学生からBYADの1人1台端末環境を先行実施し、すでに授業、学校行事、部活動及び自宅学習等に活用しています。一部の高校ではChromebookに辞書アプリをインストールし、従来購入していた電子辞書の代替としたり、講義動画の視聴による学習コンテンツで個別最適な学びの提供を行っています。また、この3校に限らず多くの学校では、Web会議システムを活用した外部講師による授業や講演会等、学びのフィールドを広げているところです。

このChromebookは、インターネットに常時接続(全県立高校では普通教室にWi-Fi設置済み)することにより、複数人でリアルタイムに文書データ等の同時編集が可能で、クラスやグループ等において意見やアイデアを画面上で整理したり、発表を促進することができ、また、他校の生徒や外部機関とのコラボレーションも可能で、大学や地域と連携した取組や研究等、工夫次第で学校の枠を越えた連携、協働した取組を充実させることができます。

併せて、端末を通じてより多くの生徒が自分の考えを表現したり、入院中あるいは教室に入れない生徒がクラス活動や授業に参加したり、個々の状況に応じた教育活動にも活用が可能が広がることを期待できます。

その他、米子西高校では主に米子市と連携した地域課題の解決策を考案する探究活動を、世界的半導体メ

1カーのインテル社から支援を受けてPBL (Project Based Learning・課題解決型学習)により取り組んでいます。これは、ICTを活用して、生徒が自ら課題を発見し他者と協働して解決すること、21世紀型スキルと言われる創造性、思考力・判断力や問題解決力等を磨く次世代人材育成プログラムです。また、今年度は特に生徒の表現力(プレゼン能力)の向上を目指した教員研修等に取り組んでいます。

今回のGIGAスクール構想は、クラウドを利用するシステムとなっており、教員にとってもこれまでない新しいチャレンジが始まります。教員のICT活用と授業デザインのスキルアップがますます重要で、8月にはBYAD先行実施の3校を対象にGoogle社による教員研修を実施する等、現在各校においては県教育センターや各校の情報化推進担当者等による研修を重ねており、令和4年度のスタートに向けて準備を進めています。また外部から「ICT支援員」を今年度は東中西部の各地区に1名ずつ配置しており、今後も教員のICT活用を支援していく予定です。

このGIGAスクール構想は、プログラミング教育、デジタル教科書、CBT(コンピュータを使った試験方式)、遠隔授業、教員の働き方改革への活用、情報人材育成による将来の地域の在り方等、様々な可能性や関連があるとされ、教育のICT化はますます加速していきます。これらの取組を推進するに当たっては、保護者の皆様のお力添えが必要となりますので、引き続き御理解と御協力を何卒よろしくお願ひ申し上げます。



PTA活動紹介

鳥取東高等学校

本校は、鳥取第二中学校として大正11年に創立し、令和4年に創立100周年を迎えます。伝統ある「生徒信条」の中に「日々自らを鍛え、進取の気をもつて事に当たろう」があります。積極的に学びに取り組み、自らの興味、関心を広げ、常に新しいことに挑む挑戦者であり続けてほしいというメッセージです。

本PTAでは、自立し挑戦し続ける子ども達を応援しサポートするため、「執行部」と4つの専門部（文化広報部、研修部、健康生活部、人権教育部）に分かれ創意工夫しながら活動を行っています。

「執行部」は、各専門部のサポートと東高祭の模擬店やコーラスによるステージ参加などを企画しています。コロナ禍での手探りの活動になり、急な変更に備え執行部会を増やして専門部のサポートにあたっています。今年度は、学祭への保護者入場ができませんが、例年コーラスでは、たくさんの先輩PTAと一緒に歌声を披露します。

「文化広報部」は、会報「鳥取東高通信」を年4回発行しています。学校行事等が、中止や参加規制され取材が大きく制限される中、紙面を工夫し生徒や保護者の思いを多く掲載しています。

「研修部」は、学年ごとに「進路

セミナー」と「親子参加の大学オープンキャンパス」を行っています。セミナーは、各学年10名前後の参加があり、会場確保が難しく昨年同様動画配信を予定しています。オープンキャンパスは、今年度は開催直前に中止になってしまいました。



鳥取環境大学オープンキャンパス

が、鳥取大学や環境大学で親子参加の東高限定プログラムを開催しています。

「健康生活部」は、親子の健康や学校生活の課題を通年で設定し活動しています。今年度「心と身体の健康」をテーマにコロナ禍のストレス発散や運動不足解消のために他機関主催の野外イベントに幹旋参加します。

「人権教育部」は、様々な差別問題に対して内部研修を中心に行っています。参加型のワークシヨップでは、小グループに分かれ個々の考えを大切にしながら話しやすい環境で研修をしています。また広報紙に人権コラムを掲載し情報発信しています。

子ども達の力を信じ様々な学校行事やPTA活動を通して高校生活を一緒に楽しみながら支えていける活動を目指しています。

（文責 会長 吉澤春樹）

倉吉農業高等学校

倉吉農業高等学校は、農業生産から農業ベースの食料生産・環境まで、農業についての専門的知識・技能を身につけ、将来農業に関わりながら地域を支える人材の育成を目指しています。

特に近年、後継者不足・自然災害等で農業の持続的発展が心配される情勢の中、高校生という若い時期に、日々生命にかかわり、育てる実践を通して、知識・技能に加えて農業の可能性や魅力を発信できる若者の育成に力を入れています。

私たちPTAは、こうした生徒たちが倉吉農高での3年間をより有意義に過ごしてくれることを願い、生徒の健全な成長と教育環境の改善に協力すると共に、会員相互の親睦を図ることを目的として活動しています。

倉吉農高PTAの4つの専門部を紹介いたします。

「ふれあい活動部」は、学校行事への支援、会員相互の親睦を深める取り組みを行っています。例えば10月の強歩大会の関門において生徒へシニークリーム・ドリンクの差し入れを行うために多



倉農祭でのバザー活動

くの保護者が集まり交流・親睦を深めています。

「人権教育推進部」は、人権教育講演会・研修会の開催、公開LHRへの参加、PTA人権教育推進部日より『いのち』の発行など、学習・啓発に努めています。

「研修部」は、年度当初に保護者向けの学校見学会を開催したり、年2回、PTA研修会として、乗馬体験、ソーセージづくり・クリスマスリースづくり・正月飾りづくりなどの体験実習の企画・運営を行います。

「広報部」は、広報誌「倉農通信」（年2回発行）の取材・編集・発行を中心に活動します。

また、11月に開催される「倉農祭」でのバザー活動には各専門部が合同で取り組みます。伝統の豚汁、シフォンケーキ、さつまステック、おにぎりなどを販売し、その売り上げを部活後援会へ寄附しています。それぞれのメニューは大変好評で前日準備と当日の販売日は専門部員以外の会員にも多数参加していただき活動を盛り上げて頂いています。

昨年度、本年度と新型コロナウイルス感染症の影響で会員がお互いに顔をあわせる機会が減りました。しかし、このような困難な時期だからこそ、子どもたちの成長と会員相互の親睦という目的を再確認しながら、何ができるのかをしっかりと考え活動していきたいです。

（文責 会長 横川 力）

令和3年度
総会報告

令和3年度の定期総会は、6月12日(土)、倉吉シテイホテルにおいて県教育長足羽英樹様を来賓にお迎えし、開催しました。新型コロナウイルス感染症の対策として、会場をホテルとし、時間を短縮するため、高P連表彰式を11月開催の指導者研究大会で実施することとしました。

来賓の足羽教育長は、「これまで当たり前だと思っていた学校の存在、学校で学ぶということ、友達がすぐそばに居ること、家族が支えてくれていることの大切さに改めて気づき、「ありがとう」を言う機会、聴く機会が増えたのではないか。自分にとって、大切な存在や時間、場所、空間に気が付く、そんなことができたコロナ禍であったと思えば、このコロナから学んだことを忘れずに、マイナスの面だけでなくプラスの面も子どもたちに伝えていきたい。保護者の皆様も、コロナをどうプラスに転じていくか、そんな視点で子供たちの成長を期待していただければと思う。」と述べられました。議事に入り、令和2年度の会務報告、会計報告及び令和3年度の事業計画、予算、並びに令和3年度全国高P連会長表彰の推薦について原案どおり承認されました。最後に役員改選があり、新会長に徳吉淳一氏(鳥取西高)が選任されました。新役員は下表のとおりです。

令和3年度
県高P連表彰者一覽

鳥取東高	岡裕明
鳥取西高	安坂正樹
鳥取西高	田健
鳥取商業高	平田健
鳥取商業高	岩崎伸一
鳥取商業高	藤原裕人
鳥取商業高	桑村美晴
鳥取工業高	岩田直樹
鳥取湖陵高	岡田頼昭
鳥取湖陵高	石坂みち子
鳥取湖陵高	上原正樹
青谷高	森本綾子
青谷高	村上代生
青谷高	長谷川利恵
岩美高	村上弥生
八頭高	上田博光
八頭高	木原眞由美
八頭高	林英史
八頭高	横田嘉代
八頭高	市村彩枝
倉吉東高	福田功一
倉吉東高	福澤一浩
倉吉西高	山田琢伸
倉吉西高	吉田成子
倉吉西高	河口泰子
倉吉農業高	石亀清和
倉吉農業高	高力千栄
倉吉農業高	豊嶋美紀
倉吉農業高	河本達志
倉吉総合産業高	橋口静香
鳥取中央育英高	池田直子
鳥取中央育英高	生田浩嗣
鳥取中央育英高	郡野桂香
米子東高	米子永真
米子東高	米子真直
米子東高	米子直樹
米子西高	米子西高
米子高	米子高
米子高	米子高
米子南高	米子南高
米子工業高	米子工業高
境港総合技術高	境港総合技術高

令和2年度 鳥取県高等学校PTA連合会 決算書

科目	予算額(A)	決算額(B)	増減(B)-(A)
(1)負担金	5,384,750	5,383,750	△1,000
(2)補助金	1,187,000	775,000	△412,000
(3)前年度繰越金	1,404,349	1,404,349	0
(4)繰入金	0	0	0
(5)手数料	1,057,000	989,102	△67,898
(6)雑収入	901	40	△861
合計	9,034,000	8,552,241	△481,759

科目	予算額(A)	決算額(B)	増減(B)-(A)
(7)会議費	290,000	55,974	△234,026
事業費	2,300,000	1,502,004	△797,996
(8)研修費	700,000	456,579	△243,421
(9)地区研修活動費	810,000	198,323	△611,677
(10)活動費	170,000	168,402	△1,598
(11)広報費	590,000	673,860	83,860
(12)事業事務費	30,000	4,840	△25,160
運営費	5,612,000	4,866,730	△745,270
(13)人件費	3,480,000	3,434,000	△46,000
(14)旅費	800,000	314,855	△485,145
(15)運営事務費	160,000	134,641	△25,359
(16)借入料	192,000	179,215	△12,785
(17)通信運搬費	200,000	188,778	△11,222
(18)渉外費	180,000	34,080	△145,920
(19)社会保険料	570,000	553,961	△16,039
(20)雑費	30,000	27,200	△2,800
(21)負担金	310,000	293,490	△16,510
(22)租税公課等	90,000	86,500	△3,500
(23)退職積立金	100,000	100,000	0
(24)予備費	332,000	162,580	△169,420
合計	9,034,000	7,067,278	△1,966,722

収入額計	8,552,241	支出額計	7,067,278	繰越額	1,484,963
------	-----------	------	-----------	-----	-----------

令和3年度 鳥取県高等学校PTA連合会役員

役職	氏名	所属高校
会長	徳吉 淳一	鳥取西
副会長	横川 力	倉吉農業
〃	松原 誠	米子東
理事	吉澤 春樹	鳥取東
〃	松浦以佐央	米子西
理事(校長協会長)	岩田 直樹	鳥取商業
〃(〃東部会長)	上原 正樹	鳥取湖陵
〃(〃中部会長)	河本 達志	倉吉農業
〃(〃西部会長)	田中 宏明	境港総合技術
〃	國岡 進	鳥取西
〃	田辺 洋範	米子東
監査	安養寺 登	智頭農林
〃	米原 幸司	倉吉総合産業
〃	深田 英男	米子南
顧問	西川 昌孝	
〃	荻原 恵子	

日野	境港総合技術	米子工業	米子南	米子西	米子東	米子東	鳥取中央育英	倉吉総合産業	倉吉農業	倉吉西	倉吉東	智頭農林	八頭	岩美	青谷	鳥取湖陵	鳥取工業	鳥取商業	鳥取西	鳥取東	所属校	
西村	菅	門脇	兼田	深田	宇野	松浦	松原	丸	米原	横川	尾崎	衣笠	安養寺	波多野	竹島	松田	森田	木下	田淵	徳吉	吉澤	会長名
和宏	幸恵	光浩	誠志	英男	婦人	以佐	直美	直美	幸司	力	宏之	優子	登	和	伸吾	安功	恭平	敬一郎	稔康	淳一	春樹	校長名
坪倉	田中	松田	松川	山崎	山口	深田	田辺	高垣	徳田	河本	山口	福光	岩本	加賀田	辻中	小川	上原	中林	岩田	國岡	中島	校長名
寿樹	宏明	敏男	明義	和正	明美	直	洋範	知博	章人	達志	宏志	浩	孝治	剛	孝彦	泉	正樹	正樹	直樹	靖雄	靖雄	

令和3年度 県立高校PTA会長・校長名簿

令和3年度 鳥取県高等学校PTA連合会

新たに取り組む事業

自転車用ヘルメット着用及び交通安全指導の推進

鳥取県支え愛交通安全条例の基本理念に基づき、自転車利用時の安全意識の向上を図るため、自転車安全利用5則の周知と、自転車用ヘルメット着用及び損害賠償保険等への加入を促進し、自転車利用者の交通ルールの遵守や交通マナーの向上を図る。

自転車に適用される**主な道路交通法**

違反内容		
飲酒運転の禁止 <small>道路交通法65条第1項</small>  罰則 5年以下の懲役又は100万円以下の罰金【酒酔い】	信号無視 <small>道路交通法7条</small>  罰則 3ヵ月以下の懲役又は5万円以下の罰金	指定場所一時不停止 <small>道路交通法43条</small>  罰則 3ヵ月以下の懲役又は5万円以下の罰金
歩行者の通行妨害 <small>道路交通法63条の4第2項</small>  罰則 2万円以下の罰金又は料料	右側通行 <small>道路交通法17条第4項</small>  罰則 3ヵ月以下の懲役又は5万円以下の罰金	無灯火 <small>道路交通法52条第1項前段</small>  罰則 5万円以下の罰金
傘さし運転 <small>【携帯電話による片手運転等】</small> <small>道路交通法71条第6号</small>  罰則 5万円以下の罰金	制動装置不良 <small>道路交通法63条の9第1項</small>  罰則 5万円以下の罰金	二人乗り <small>道路交通法57条第2項</small>  罰則 2万円以下の罰金又は料料
妨害運転 【歩行・幅寄せ・道路変更・不要な急ブレーキ・ベルを執拗に鳴らす等】 著しい交通の危険 <small>道路交通法117条の2第6号</small> 罰則 5年以下の懲役又は100万円以下の罰金 交通の危険 <small>道路交通法117条の2第11号</small> 罰則 3年以下の懲役又は50万円以下の罰金		

鳥取県交通対策協議会・鳥取県・鳥取県教育委員会・鳥取県警察

自転車に乗るときはヘルメットの着用を！



米子東高校通学風景

- #### 自転車安全利用5則
- 1 自転車は、車道が原則、歩道は例外
 - 2 車道は左側を通行
 - 3 歩道は歩行者優先で、車道よりを徐行
 - 4 安全ルールを守る
 - 飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
 - 夜間はライトを点灯
 - 交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
 - 5 子どもはヘルメットを着用

損害賠償責任保険等に加入しましょう！

自転車と歩行者の事故により、歩行者が死亡し又は重傷となった事故のうち、損害賠償責任保険等の加入が確認された自転車運転者は60%にとどまっています。

自転車による交通事故でも、自転車運転者に多額の損害賠償責任が生じる恐れがあります。



令和3年度優良PTA文部科学大臣表彰伝達式が8月30日(月)鳥取県庁で行われました。
受賞PTAは、鳥取商業高等学校と米子工業高等学校です。



足羽英樹鳥取県教育長から、鳥取商業高校 田淵稔康PTA会長と米子工業高校 新宮美津代PTA顧問に表彰状が授与されました。

この表彰は、文部科学省がPTAの健全な育成と発展に資することを目的として、毎年、優秀な実績をあげているPTAを表彰するものです。

例年は、表彰式は8月開催の全国高等学校PTA連合会大会で行われていましたが、鳥根大会はオンライン開催となったため、今年度は、県教育長からの伝達となりました。



令和3年度各種大会等の予定

- 鳥取県高等学校PTA指導者研究大会
期日：11月14日(日)午前9時30分～午後0時30分
会場：鳥取県立福祉人材研修センター
内容：講演会
演題 「未定」
講師 鳥取県ケータイ・インターネット教育推進員 垣本雅史 氏
- 中部地区高等学校PTA研修会
期日：10月24日(日)午後1時30分～午後3時30分(1時受付)
会場：倉吉シティホテル
内容：講演会
演題 「アンガーマネジメント～怒りと上手に向き合うためには～(仮)」
講師 鳥取法務少年支援センター所長
- 西部地区高等学校PTA会長・校長合同研修会
期日：10月9日(土)に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため中止とする。
会場：米子市観光センターを予定していた
内容：陶芸体験を予定していた。

令和4年度各種大会等の予定

- 鳥取県高等学校PTA連合会総会
期日：6月
会場：中部地区
- 中国・四国地区高等学校PTA連合会大会愛媛大会
期日：7月26日(火)
会場：松山市「愛媛県民文化会館」
- 全国高等学校PTA連合会大会石川大会
期日：8月25日(木)、26日(金)
会場：金沢市「いしかわ総合スポーツセンター」他
- 鳥取県高等学校PTA指導者研究大会
期日：11月
会場：中部地区

■全国高P連会長表彰■

鳥取県から受賞された個人・団体は次のとおりです。PTA活動に尽力され、素晴らしい成果をあげておられることが、多くの方々より高く評価された結果と存じます。

誠におめでとうございます。

◆個人表彰

石亀 清和氏(前倉吉農業高会長)
県高P連副会長 1年
地区高P協議会長 1年
単P会長 1年

◆団体表彰

智頭農林高等学校PTA
倉吉西高等学校PTA

◆役員等表彰

秦野 啓一氏(前鳥取県高P連会長)

第70回全国高P連大会 島根大会報告

令和3年8月25日、日本国内における新型コロナウイルス新規感染数は2万人を大きく超え、第5波の真ただ中でした。

未知のウイルスの影響により本島根大会の一年延期が決まった昨年4月の頃に襲った第1波は最大で700人ほどの山であり、この当時は、一年後の大会はこれまで通りに開催できるだろうと多くの人が思っていたことでしょう。

よもや一年後の大会がはるかに厳しい環境下での開催になるうとは。大会を所管された島根大会実行委員会の皆様には、本当に頭の下がる思いです。

さて、その島根大会実行委員会の皆様が苦勞に苦勞を重ねて作られた今回の形式は、記念講演・公演、アトラクション等を島根県民会館大ホールで行い、この映像をライブで全国に発信するということでした。

私は自らが所属する米子東高等学校多目的ホールで、他の保護者



会員、校長先生らとともに、この大会を視聴させていただきました。

開会式では、泉全国高等学校PTA連合会会長の式辞に続き、萩

生田文部科学大臣がビデオレターで、丸山島根県知事、上定松江市長が壇上で祝辞を述べられました。「これまで当たり前だったことができなくなった今こそ、PTAの底力が試される」、「変化に対応する力を大人たちが子どもたちに示すとき」、「本大会のテーマは「ご縁づくり」新たな明日への礎のために」オンラインでのご縁づくりに期待したい」など、コロナ禍ならではの挨拶が印象的でした。

記念講演・公演では、小泉八雲記念館館長の小泉凡氏、俳優の佐野史郎氏、ミュージシャンの山本恭司氏の三名が舞台上に立たれる予定でしたが、冒頭、現在病氣療養中である佐野史郎氏のメッセージが読み上げられ、佐野史郎氏による朗読の部分は過去に行われた公演風景が画面に映し出されました。小泉凡氏の講演は、それまで小泉八雲から怪談話くらしいの連想しかできなかった私ですが、



彼がどのように生まれ育ち、松江のどこに魅力を感じたのか、また、感染症についてもいくつかの文献があるというようなお話で、非常に興味深く聴かせていただきました。最後に披露された山本恭司氏のギターの生演奏は、普段ロックを聴くことがない私にもロックの魅力が十分に伝わってくるもので、素晴らしいひと時を過ごさせていただきました。何よりも佐野史郎氏の同級生とのこと、やはり学生時代の仲間というの

は、将来かけがえのない大切なものになるのだなと改めて感じたところです。

分科会については、6つの分科会において様々なテーマで議論が持たれています。年内はアーカイブ配信されていますので、各校PTAにおきまして、取組を推進したいテーマの分科会を視聴されることに期待します。

(文責 高P連副会長 松原 誠)

PTA広報紙展示

鳥取東高等学校
「鳥取東高通信」



米子工業高等学校
「米工PTA会報 鵬翔」



毎年全国大会において実施されている「PTA広報紙展示」が、本年度、全国高等学校PTA連合会大会島根大会が無観客オンラインで開催されるため中止となりました。そこで、鳥取県高P連では例年どおり優良広報紙2紙を選定し当会ホームページへ掲載することといたしました。

令和5年度までに、県立学校の自転車通学生は、自転車用ヘルメットを着用し、損害賠償保険等へ加入することとなります。

鳥取県高等学校PTA連合会では、団体契約による、割安な掛け金でご加入いただける【高校生総合保障制度】を導入し、保護者の皆さまにおすすめています。

鳥取県高等学校PTA連合会会員学校 保護者の皆様へ

鳥取県高等学校PTA連合会推薦

高校生総合保障制度のご案内

(団体総合生活保険)

学生生活を取り巻く様々な危険からお子様をお守りするために**高校生総合保障制度**をお薦めしています。



自転車事故でお子様がお加害者に？

**相手方との交渉もお任せ！
個人賠償責任補償で安心！**



部活中にお子様がおケガ？

**学校内・部活動中・通学途中・
プライベートを問わず
24時間補償で安心！**

■加入タイプのご案内		W	A	B	C	S
保険料 (3年間一時払)		33,000円	25,500円	19,500円	13,500円	5,500円
賠償	個人賠償責任保険金額 (記録情報限度額500万円)	国内 無制限	国内 無制限	国内 無制限	国内 無制限	国内 無制限
		国外 1億円	国外 1億円	国外 1億円	国外 1億円	国外 1億円
育英	育英費用	120万円	114万円	88万円	20万円	-
けが	死亡・後遺障害保険金額	165万円	154万円	124万円	66万円	54万円
	入院保険金日額 (最長180日目までの180日限度)	2,445円	2,150円	1,400円	800円	-
	通院保険金日額 (最長180日目までの90日限度)	1,100円	1,100円	700円	500円	-
	天災(地震・噴火・津波)危険補償	○	○	○	○	○
	細菌性食中毒等補償特約	○	○	○	○	○
	熱中症危険補償	○	○	○	○	○
被害事故		3,000万円	-	-	-	-
携行品(免責5千円)		10万円	10万円	10万円	10万円	-
救援者費用		100万円	100万円	100万円	100万円	-
病気	入院医療保険金日額 (日額・60日限度)	2,300円	-	-	-	-
	手術医療保険金	入院医療保険金日額の 10倍または5倍	-	-	-	-
	入院療養一時金	20万円	-	-	-	-

制度に関するお問い合わせ先 (東京海上日動火災保険株式会社 代理店)

「高校生総合保障制度事務局」(受付時間 月~金 AM9:00~PM5:00)

(株)東京海上日動パートナーズ中国四国 鳥取支社

住所：鳥取市南隈541トリニティーモールBゾーン1F TEL：0857-32-8825

この保険は、鳥取県高等学校PTA連合会を契約者とし、団体の構成員等を保険の対象となる方とする団体契約です。保険証券を請求する権利、保険契約を解約する権利等は原則として契約者が有します。

引受保険会社 東京海上日動火災保険株式会社

令和3年9月作成 21-TC04564